



西脇知事に要望書を提出

10月31日に「令和8年度 京都府予算編成に関する要望書」を提出いたしました。



左から 家元政調会長、磯野代表幹事、中村代表幹事、近藤団長、西脇知事、古川副知事、鈴木副知事、武田副知事

第1 人口減少社会を踏まえた重点要望

- ①子育て環境日本一推進戦略の実行
- ②産業の担い手の確保と経営体質の強化
- ③文化の都・京都の実現
- ④府域の均衡ある発展の推進

第2 「あたたかい京都づくり」に向けた府政重点要望

- ①安心できる健康・医療・福祉の実現
- ②災害・犯罪等からの安心・安全の実現 等

主な重点要望事項

令和7年度 9月補正予算 総額29億9,200万円

1 高温・渇水から農業を守る取組

- 農業水利施設や農家等の渇水対策を支援 **5,000万円**
- 高温・渇水の影響を受ける農業者の経営安定を図るための支援等を実施 **9,000万円**

2 中小企業者の事業活動を守る取組

- 中小企業者の賃上げが可能となるような経営基盤の強化を支援 **2億8,000万円**
- 物価高騰や人手不足の影響を受ける建設業者等への支援を強化 **1億2,000万円**

3 高校無償化への対応

- 国制度の決定に伴い高校生等の就学支援金及び奨学のための給付金を拡充 **21億8,300万円**

4 その他の施策

- ツキノワグマによる人身被害の未然防止・安全確保のための体制を構築 **1,200万円**
- 国指定文化財建造物(国宝・重要文化財)の保存修理を実施 **9,900万円**
- 債務負担行為 **6,100万円**

5 インフレスライド条項適用への対応

- 労務単価や資材費の上昇等に対応するため、契約済の工事請負契約の予算を増額 **1億5,800万円**
- 債務負担行為 **7億3,400万円**

令和7年9月定例会において自民党議員団は以下の質問を致しました。

※9月定例会での質問内容の一部抜粋です。詳しくは京都府議会のHP録画中継でもご覧頂けます。



今、それぞれの地域で起きている問題や課題に対して、どのようにして対応し、府民の安心安全を守るのか。知事に問う

長岡京市・乙訓郡

能勢昌博



- ☆中小企業における労働環境の改善と支援について
- ・経営改善の取組と労働条件の改善によって、経営を活かす取組と連携することが重要では？
- ☆竹林の害虫被害について
- ・シナチクノメイガによる食害被害の現状をどこまで把握しているのか？また、広域的な取組には、国の協力なしではできないので国に協力を求めることが必要。今後、京都府はどのように取り組むのか？
- ☆学校現場における人手不足と人材育成について
- ・教育の質を向上させていくための人材確保は？
- ・特別支援学校における給食調理員やスクールバス介助職員の確保について
- ☆京都アリーナ(仮称)の駐車場の確保と、長岡京市方面への府道の整備について

問京都府米政策の今後の方向性は？

答持続的発展と安定供給が重要で、生産性向上とブランド化で米価を維持する。

京丹後市

森口 亨



- 問京都府農業の担い手育成を！
- 答農業の成長産業化を担う専門性の高い人材と、農村コミュニティに参加し、農業施設の維持管理に携わる人材を確保する。
- 問ツキノワグマ被害の防止を！
- 答餌となる放置果樹の伐採支援など人家周辺の出没抑制と、職員研修や若手狩猟者の育成をしている。また、9月から市町村長の判断で緊急銃猟が可能となった。
- 問府立大は、文化財の地域資源化や北部サテライトオフィスの開設、峰山高校での大学入学共通テストなど府民に貢献している。もっと積極的な成果の発信を！
- 答より多くの方に成果を伝えるため、SNSなども活用して発信することで、府民が地域に誇りや愛着を持ち、地域に主体的に関わるシビックプライドの醸成につながるよう、府立大学の取組を支援する。

◎特急はるか山科駅延伸を契機に、山科を京都の東の玄関口にふさわしい地域となるよう、府市連携でのまちづくりを要望

山科区

大澤彰久



- ①新たな感染症の脅威に備え、府民の命と生活を守るため、府市連携で設立される京都版CDC(京都感染症予防管理センター(仮称))について、日本版CDC「国立健康危機管理研究機構(JIHS)」との連携強化を提案
- ②令和7年度全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、基礎学力の徹底と反復学習の重要性、読書活動の推進による学びの質の向上、京都府独自の「学びのパスポート」との連携強化を提案
- ③避難所運営に関する全国調査で最も大きな課題はトイレであり、良好なトイレ環境を維持していくため、パキューム車の確保と実効性のある尿処理体制の確保を提案
- ④山科・醍醐地域は、豊かな歴史と文化を有する地域であり、宇治方面への周遊観光の起点として大きな可能性があるため、地域資源を活かし、持続可能な観光の実現を提案

- ①サステナブルパークの形成と海洋センター等の機能強化について
- ②農業渇水・高温対策について

宮津市・与謝郡

中島武文



- ①令和10年度を目途に、宮津エネルギー研究所跡地をサステナブル産業の集積拠点「サステナブルパーク」として企業誘致を行う事業が目に見えて動き出した。府として、どのような誘致活動を考えているのか。また、老朽化が進む海洋センターや栽培漁業センター等の施設を生まれ変わらせ、企業を呼び込み産学官連携のオープンイノベーション拠点へと進化させることが必要なのではないか。
- ②農業渇水・高温対策に苦勞されている幅広い農家の方々に支援が行き届くように、市町村とも連携し、対策を講じていただきたい。

新名神高速道路の全線開通に合わせた府南部地域の道路網の更なる強化が必要と考えるが、その必要性や今後の整備方針はどうか

八幡市

田島祥充



- 府南部地域の道路ネットワーク整備については、山城北部地域道路ネットワーク整備促進協議会からの要望もあり、新名神高速道路の整備を契機に、予想を超える規模で開発や立地が進んでいることを踏まえ、国、関係市町と連携し、将来の交通状況を分析した結果、5つの計画・構想路線においては、一定の効果が確認でき、この中でも、城陽―八幡連絡道路については、東西交通のボトルネック部である木津川に新たな橋梁を設けることで、木津川両岸の広い地域に高い効果を発揮することから、効率性、実現性の観点から総合的な検討を進めたいと考えている。

大阪・関西万博で多くの皆様に参画いただいた京都府の取組の成果やネットワークの今後の活かし方について

伏見区

渡辺邦子



- 関西パビリオン京都ゾーンでの多岐に渡る出展やMEET UP KYOTO、万博ホールでのEXPO KYOTO MEETING等で培われた成果やネットワークをレガシーとして大切に繋ぎ今後どのように発展させていくか。
- 万博で出展や宇宙落語会を開催された花山天文台や、府内各大学での研究や、丹後企業による宇宙産業ネットワーク等を京都全体でデザインし、京都ならではの「宇宙」をテーマにした取組の推進を。
- 万博を機に復活した淀川舟運を一過性のものとせず、未来に繋げていくための課題と、関係機関と連携した今後の取組について。

9月定例会 代表質問

9月定例会 一般質問

9月定例会 一般質問

- 府北部地域の医療体制について
- 京都舞鶴港の振興・整備について
- 気候変動に対応した農林水産研究を!

舞鶴市
池田正義



●国は、2040年頃の医療ニーズの変化を見据え、地域完結型の医療・介護提供体制へ転換を図ろうとしているが、今後どのように地域医療体制の構築を進めていくのか。又、舞鶴市や丹後地域の動きに対して、どう検討するのか。
●舞鶴国際ふ頭は、国の事業再評価により工期が大幅に延長、事業費増加したが、早期供用に向けどう取組むのか。
●水産業では、舞鶴湾において丹後とり貝が、下痢性貝毒により、出荷できなかった。農業でも農作物への被害が発生した。気候変動に対応した農林水産研究の強化を図るのか。

すべての人が生き生き活躍できる仕組みづくりと、インフラ整備で、ゆとりある質の高い京都づくり。

宇治市・久世郡
藤山裕紀子



●高齢者の居場所づくりについて……退職される方が社会とつながりつづけ、経験や知識、技能を活かし、新たな役割を担う中で生き生きと生活できるよう、一歩を踏み出せる居場所づくりを。
●すべての人にやさしい交通環境の整備について……まちや人の心にゆとりを生むような歩行空間の整備など、人優先の交通環境整備でより質の高いまちづくりを。
●高校の授業料支援拡充に伴う今後の府立高校の魅力化に向けた取組への影響について……施設・設備整備を含め、魅力化の更なる加速で、選ばれる府立高校づくりを。

- ①IVSの評価と今後の展開・支援
- ②京都府立植物園の観覧温室
- ③生成AIチャットボット導入

北区
津田裕也



答弁一覧:①今年のIVSは「京都エリア」を設置し、産学公金の情報発信を強化したところ、300件以上の商談が生まれ、今後の京都での継続的な活動に繋がると期待しております。
②観覧温室での専用売店の設置は、人員の確保や設備の改修、商品開発なども含め、収支面での課題もありますが、効果的・効率的な手法などを検討してまいります。
③生成AIチャットボットについて技術情報を収集しながら性能向上に努め、人工知能戦略本部の動向等も踏まえ、幅広い業務での活用を図ってまいりたいと考えております。

「人を育て、人が支える京都へ」働く人が誇りを持てる環境をつくり誰もが安心して暮らせる社会の実現を!

上京区
宮下友紀子



●令和6年度決算について「あたたかい京都づくり」が前進し、子育て・文化・地域経済の成果が着実に現れた。京都市との連携も深化し、府域全体へ広げること、京都がひとつにつながる未来に期待している。
●雇用関連施策と賃上げ支援事業について賃金を「未来への投資」と捉え、人材育成・雇用維持を支援することで、働く人と企業が共に成長を喜び合える環境づくりの後押しを!
●介護人材の資質向上と施設の現況把握について人生100年時代を見据え、介護人材の「質」と「定着」を重視し、現場の声に寄り添った環境整備が急務。現場の実態を的確に把握し、制度面からの力強い支援を通じて、質の高い介護を支える人材育成を!

- ①公共交通の再生に向けて、京都府が果たすべき役割について
- ②障害者手帳所持者の一般就労支援について

京田辺市・綴喜郡
古林良崇



①将来にわたり、府内どこに住んでも安心・安全で豊かな暮らしを送るには、公共交通の維持・発展は不可欠。そのため、交通需要を創り出す視点に立ち、市町村のまちづくり・都市計画と連携した戦略的な交通政策を展開すること。また圏域単位で公共交通への投資効果を可視化し、交通政策への予算を拡充し、公共交通の質・量を高める必要性を問いました。
②障害者手帳所持者の一般就労支援には、各圏域の「障害者就業・生活支援センター」との連携が不可欠と指摘。府とセンターの役割分担や課題を問うとともに、人材確保や育成、市町村との連携強化による機能充実を提案。また、企業と本人を信頼でつなく第三者の重要性を示し、京田辺市「みんプロ」のような取組を府としてどう評価し、今後の施策に生かしていくかを質しました。

- ①家庭教育の重要性について
- ②子どもの体験格差について
- ③道路ネットワークの整備について

福知山市
武田光樹



①家庭教育は、子どもの健やかな成長を支える全ての教育の原点だが、今その機能が低下している。今こそ家庭教育の重要性を再評価し、社会に周知するとともに、支援の届きにくい家庭へアウトリーチ型で支援を届ける体制強化を求める。
②体験活動は、全ての子どもに権利で将来を左右する重要な要素。都市部と地方部の体験格差を是正するため、府主導で文化・芸術周遊の仕組み創設を求める。また地方独自の文化資源を探究学習に活かすべき。
③地域のにぎわい創出や安心・安全な地域づくりのためには、道路ネットワークの整備が重要。国道429号複々バイパスの早期開通をはじめ、府内各地の公共事業を着実に整備し、新たな広域連携や持続可能なまちへとつなげることを望む。

決算特別委員会 総括質疑

政務調査活動

よりよい京都府を実現するため、各地を調査、様々な勉強会や意見交換会を行っています。

東京都港区の竹芝地区にて官民連携の竹芝スマートシティ及び東京都農林総合研究センターにて調査。今後の都市再開発や最新技術を利用した各事業の理解が深まり、本府における更なる事業展開の参考とすることが出来た。



東京ポートシティ竹芝オフィスタワー



東京都農林総合研究センター

北区 津田裕也	上京区 宮下友紀子	左京区 石田宗久	中京区 青木義照	東山区 荒巻隆三	山科区 大澤彰久	下京区 小巻久美	南区 秋田公司	西京区 近藤永太郎
伏見区 渡辺邦子	伏見区 瀧脇正明	福知山市 家元 優	福知山市 武田光樹	舞鶴市 池田正義	綾部市 四方源太郎	宇治市 久世郡 藤山裕紀子	宮津市 与謝郡 中島武文	亀岡市 田中英夫
亀岡市 中村正孝	城陽市 奥村文浩	向日市 磯野 勝	長岡京市 乙訓郡 能勢昌博	八幡市 田島祥充	京田辺市 綴喜郡 古林良崇	京丹後市 森口 亨	南丹市 船井郡 片山誠治	木津川市 相楽郡 兎本和久

自民党京都府議会議員団

府民の声をお聞きし、その思いを実現してきました。お困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。